

小田原創友クラブ

第76号

【発行】小田原市老人クラブ連合会
〒250-0055 小田原市久野115-2 ☎(0465)32-5800 編集 創友クラブ教養部

【印刷・編集協力】株博報社関東本社 神奈川県厚木市愛甲1-8-39 ☎(046)280-6001(代)



健康に留意し、安心安全な地域づくりを

小田原市老人クラブ連合会
(小田原創友クラブ) 会長 大友 昭夫

明けましておめでとうござ
います。

皆様方におかれましては、健
やかに新年をお迎えのことと
お慶び申し上げます。

皆様には日ごろから地域の
奉仕活動、友愛活動、健康づく
り等にご理解とご協力をいた
だき厚く御礼申し上げます。

さて昨年中は一月に発生し
た新型コロナウイルスの感染
拡大という非常事態に遭遇し、
長期に亘る感染予防のために、
当小田原創友クラブでも三大
行事であります秋季作品展、シ
ルバースポーツ大会、市老連大
会を自粛し、残念ではあります
が開催を見送りました。な其他
の研修会等事業については回
数と規模を縮小し、感染予防策
をととのえ実施しました。

このような状況のなかで高
齢者自身の健康意識の高まり
が出てきております。私達はこ
れからも健康管理に一層努め、
健康寿命の延伸、自立した生
活、生きがいのある生活の実現
が求められています。

高齢者が住み慣れた地域で
安心安全な暮らしを継続する
ことができるように、他の世代
や関係諸団体と連携し、活力あ
る地域づくりを目指そうでは
ありませんか。

結びに皆様の益々のご健勝と
ご多幸をお祈り申し上げます、年頭
の挨拶とさせていただきます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



新年を迎えて

小田原市長 守屋 輝彦

明けましておめでとうございます。

小田原市老人クラブ連合会の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、会員の皆様には、日ごろより、地域の清掃活動や友愛活動、健康づくりに関する活動など、様々な取り組みを精力的に実施され、地域福祉の向上に貢献いただいておりますことを厚くお礼申し上げます。

コロナウイルス感染症が国内外において猛威を振るい、全都道府県に緊急事態宣言が発せられました。本市を含む、小田原保健福祉事務所管内(県西地域2市8町)においても感染者が発生し、諸行事の中止や延期、諸施設の利用抑制などに伴う不自由に加え、外出自粛など、市民活動や社会活動、地域経済に大きな影響を与えた1年でした。こうした人との交流が難しい状況下において、地域でのつながりや支え合いが重要であることを実感

しているところ です。私は市長就任以来、市民のいのちを守る新型コロナウイルス感染症対策を最優先としながらも、「生活の質の向上」と「地域経済の好循環」の両輪により、「世界が憧れるまち小田原」の実現に向け、スピード感を持って市政運営に取り組んでいます。

といった地域社会の担い手としてご活躍を期待するとともに、市政の様々な場面でお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、小田原市老人クラブ連合会並びに各単位老人クラブのますますの御発展、そして今年一年が皆様にとりまして素晴らしい年でありますよう、心から祈念いたします。



新年のご挨拶

小田原市議会 議長 奥山孝二郎

明けましておめでとうございます。

小田原市老人クラブ連合会の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、地域のボランティア活動や清掃活動などの様々な社会活動を通して、シニア世代の生きがいと健康づく

りの推進や暮らしやすいまちづくりにご協力いただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感

染症により、私たちの日常生活が大きく変わるとともに、幾多の試験が課されました。その一方で、これをきっかけとして、「新しい生活様式」が広まり、自宅や地域で過ごす時間が増え、地域の人々との繋がりが、住環境等の大切さが見直されることとなりました。

今日の私たちは、これまでとは異なる局面、新しい時代の入口にあり、これまでの経験や知識を糧に、新しい発想、常識にとらわれない想像力で、10年、20年後の

未来を思い描かなければなりません。そのためには、豊富な人生経験や知識、幅広い人間関係を持つ皆様、そして、未来を担う若者や子どもたちが共に手を取り合い、お互いの力を生かしながら歩んでいくことが大切であります。

2025年には、国民の6人に1人が75歳以上という、世界にも類をみない超高齢社会を迎えることとなります。多くのかたが年齢にとらわれることなく、心や体の健康を保ちながら、仕事や趣味、地域活動など、精力的に活

動しておられますが、皆様のお力は、今後のまちづくりに欠かせないものです。

小田原市議会といたしまして、誰もが明るく活気に満ち、健康で生きがいあふれる生活をおくることのできる社会の実現に向けて努力してまいりますので、本年も、変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



新年を迎えて

福祉健康部長 山崎 文明

明けましておめでとうございます。小田原市老人クラブ連合会の皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、口ごろより、友愛活動や奉仕活動など地域福祉の推進に貢献いただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が市民生活にも大きな影響を与えました。未だ終息の兆しが見えない中、高齢者の

皆様にとっては外出自粛による運動不足や栄養の偏り、人との不調や筋力、体力の低下が懸念されます。また、本市におきましても全国同様に少子高齢化が進展し、総人口に占める65歳以上の方の割合は30%を超え、年々、介護サービスを必要とされる方も増加しています。

新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。小田原市老人クラブ連合会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から社会福祉協議会の運営に対しましてご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスに翻弄された一年、この一言に尽きると思います。学校休業、外出自粛、営業自粛、行事中止等々の措置が取られ、職場、学校、

家庭のみならず社会全体が前例のない変化を経験することとなりました。今や、3密の回避、マスク・手洗い・手指消毒、日々の検温、アクリル板の衝立、窓開け換気の徹底、これらが「新しい日常」の一般的な姿になりつつあります。

送っていくことが重要になってまいります。

本市では、介護予防と自立支援を推進するとともに、地域活動における担い手の育成、元気なシニア層の活躍の場の創出に係る事業において、市民・民間事業者・行政が一体となった取組を進めています。

地域全体で高齢者を支援していくためには、適切な介護サービスの提供はもちろんのこと、高齢者の社会参加や仲間づくり、健康の保持・増進に向けた取組が求められており、老人クラブの役割は、これ

ることになりました。さらに営業自粛に伴う企業活動の低迷は、市民生活にも大きな経済的打撃を与えました。市社協では年間を通じ、新型コロナウイルスの影響による収入の減少、失業等で生活に困窮し日常生活の維持が困難な世帯を対象として、緊急小口資金、総合支援資金の特例貸付に対応してまいりました。

新しい年を迎え、日々の暮らしが新しい生活様式へと移行するのに併せて、地域福祉活動も「With コロナ」に対応した新たな取

まで以上に重要になっております。小田原市老人クラブ連合会の皆様には、日々の感染予防を心がけると共に、これからも健康に留意しながら、豊かな地域福祉の担い手として、健康づくりや生きがいづくり、環境美化活動など様々な面で活躍いただきたいと存じます。

結びに、この新しい年が小田原市老人クラブ連合会並びに各老人クラブの皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう、心から祈念申し上げます、年頭のあいさつとさせていただきます。

小田原市社会福祉協議会 常務理事 林 良英

り組みが求められています。今まで積み重ねてきた諸活動を決して途切れさせないよう、常にプラ又思考で、今やれることを今できる形で進めていっていただきたいと思ひます。

結びになります。現下の状況が一日も早く解消され、平穏な日々を取り戻せるよう心から願いますとともに、貴会のますますの発展と、新しい年が會員の皆様にとりまして素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げます。

結びになります。現下の状況が一日も早く解消され、平穏な日々を取り戻せるよう心から願いますとともに、貴会のますますの発展と、新しい年が會員の皆様にとりまして素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

老人クラブ活動に 功績のあった方々の表彰

毎年、小田原市民会館において開催されます市老連の一大イベント「第55回小田原市老人クラブ連合会大会」は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から今年度は中止となりました。

今年度の功労者表彰は、11月5日の理事会にて次の対象者・対象団体に表彰状と記念品が授与されました。(敬称略)



一、老人クラブ活動において功績のある団体 1団体
下府中地区 矢作福寿会 (会長) 佐藤 正利

一、老人クラブの発展に寄与された方(会長職6年以上) 6名

- 富水地区 飯田岡第三寿会 高橋 博
- 下府中地区 中里一区一第一長寿会 永井 永一
- 下府中地区 中里二区悠友会 新井 知功
- 下府中地区 鴨宮二区第二長寿会 細田 利一
- 幸地区 二十七区二の丸会 山室 清
- 酒匂地区 シルバー富士 小林 久之

一、老人クラブの発展に寄与された方(会長職以外三役10年以上) 3名

- 大窪地区 大窪六十一区長寿会 窪倉 守
- 大窪地区 大窪六十一区長寿会 佐藤寿美子
- 万年地区 潮会老人クラブ 大木枝代子

一、老人クラブの発展に寄与された方(多岐にわたる活動の継続) 2名

- 上府中地区 八千代会第二クラブ 天野 千歳
- 酒匂地区 第一寿栄広会 大木 徹

(文 教養部長)

市川初江女性部長 褒章受章者に 選ばれました

秋の褒章受章者として、教育や福祉など公益に尽くした人に与えられる藍綬褒章を市川女性部長が受賞されました。

おめでとうございます。

市川初江さんは、(元)民生・児童委員として二十有余年、社会福祉活動の功績が認められたものです。

(文 教養部長)



大友昭夫会長 神奈川県知事賞を 受賞されました

この度、令和2年度神奈川県高齢者福祉関係功労者として、神奈川県知事賞を受賞されました。

今回の受賞は、多年にわたり老人クラブ役員として各種事業を積極的に推進し、高齢者福祉の向上に多大な貢献をされた方を表彰するものです。

誠にありがとうございます。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

西湘ブロック「ゆめクラブ大学」が開催されました

老人クラブ連合会が地域において、「健康づくり活動」「生きがい活動」「友愛活動」等に取り組んでいるなかで、健康寿命の延伸に向けた介護予防事業を推進するために、西湘ブロック(小田原市老連と箱根町老連)の会員や会員以外の高齢者に呼び掛けて、講義形式による講座を開催するものが、「ゆめクラブ大学」で、県の委託事業です。

小田原市老人クラブ連合会、大友会長のご挨拶と開講式から始まり、今回の講座は、次の内容で開催されました。

日時:令和2年8月20日(木) 10時30分～14時30分

場所:おだわら総合医療福祉会館 4階ホール

参加者:52名(箱根老連:9名、小田原老連:43名)

講座内容及び講師

「フレイル予防」について

神奈川県老人クラブ連合会:松田冴子様(活動推進員)

「高齢者のための栄養バランス等を考慮して調理された食事の試食」

「感染予防」について

小田原市福祉健康部・健康づくり課:高橋来実様(保健師)

「手洗い実践教室」 中北薬品株式会社:山下成美支店長 以下4名様
今回は新型コロナウイルス感染症の拡大時期と重なり、講義内容について充分ご理解できたと思います。

最後に、箱根町老連の勝又会長のご挨拶があり、閉講式にて受講生に修了証書の授与が行われました。

(文 教養部長)



令和2年度

第55回小田原市老人クラブ連合会「老人大学」が開催



11月25日おだわら総合医療福祉会館4階ホールにて、受講者65名が参加し第55回小田原市老人クラブ連合会「老人大学」が開催されました。

今年度の事業計画では、9月・1月の2回の開催予定ですが9月の開催はコロナ禍による集会などの自粛要請で11月25日に変更となりました。

今回の講座内容は、従来までの高齢者の「健康づくり活動・生きがい活動・友愛活動・介護予防」など健康にかかわる講座から「高齢者向け防災対策について」という内容で講義が行われました。講義内容は次の通りです。

○講 師:小田原市防災対策課 下澤 巧様

○講義時間:13時30分～15時30分の2時間(途中約10分の休憩をはさむ)

○講座内容:水害編と地震編に分け、現状起きている災害の現状と小田原市の被害想定などについて講義が行われました。

水害⇒今年の台風被害(19号)で日本三大急流の一つに挙げられている熊本県球磨川の水害(洪水・氾濫)の発生メカニズムと小田原市に流れている本流と支流の合流点の現状や雨量との関係、またハザードマップの準備と活用など。

地震⇒想定地震の震源モデルについて、想定東海地震の根拠、小田原市の地震被害の想定(神奈川県西部地震と大正型関東地震との比較)

※私たちの住居では、地震で倒れてくるものや落下してくるもので生命に危険を及ぼす要因は適時排除すること、食べ物・飲み水・携帯トイレ、燃料(料理用)など必要最小限は備蓄していただきたいです。

(文 教養部)

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

単位クラブ活動報告

富水地区 (連合会長 井上 勝美)

総会員数 317

飯田岡第一長寿会	会長 吉澤 博美	男24・女30	計54名
飯田岡第三長寿会	会長 高橋 博	男13・女17	計30名
穴部長生会	会長 金指 隆夫	男20・女23	計43名
北ノ窪寿会	会長 市川 弘明	男11・女38	計49名
久所寿楽会	会長 山口 晴弥	男19・女23	計42名
楠百寿会	会長 浦 悦子	男12・女18	計30名
西北長寿会	会長 井上 勝美	男27・女42	計69名



富水地区は小田急線富水駅及び螢田駅間の西側地区と、ほぼ中央に仙了川と狩川が流れています。狩川の西側に伊豆箱根鉄道線があり穴部駅及び相模沼田駅間の東西両側の地域が富水地区になります。また、富水の老人クラブの発足ですが、富水発祥地、飯田岡地区から始まり昭和37年飯田岡一、三、老人会、続いて38年穴部老人会、42年北ノ窪老人会、44年西北老人会、48年久所老人会、最後に平成25年楠老人会が誕生し現在七単位老人クラブで富水老人クラブを運営しています。

富水地区は小田急線富水駅及び螢田駅間の西側地区と、ほぼ中央に仙了川と狩川が流れています。狩川の西側に伊豆箱根鉄道線があり穴部駅及び相模沼田駅間の東西両側の地域が富水地区になります。また、富水の老人クラブの発足ですが、富水発祥地、飯田岡地区から始まり昭和37年飯田岡一、三、老人会、続いて38年穴部老人会、42年北ノ窪老人会、44年西北老人会、48年久所老人会、最後に平成25年楠老人会が誕生し現在七単位老人クラブで富水老人クラブを運営しています。

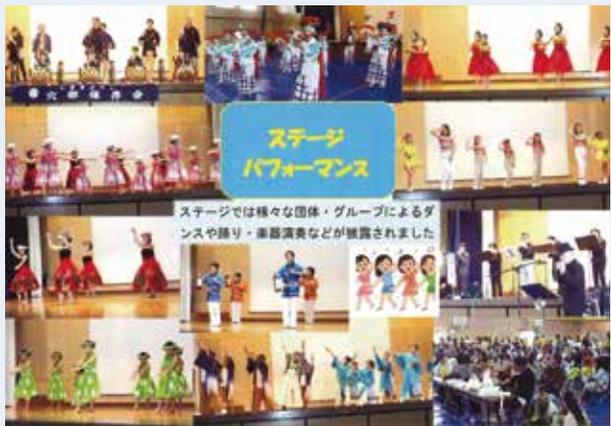
一、富水地区自治会連合会との活動の協力

自治会と連携し自治会の事業や老人クラブの事業を遂行する。(健民祭や健康管理・交通安全・防災防犯・見守り・社会奉仕など多岐にわたる)

二、富水地区社会福祉協議会への活動支援

民生児童委員と協力し、高齢者訪問支援や子育て支援・ふれあいサロン活動・介護支援・募金活動など

私たちは感染防止のため、手洗い・マスクの着用・三密の回避・自粛要請などを3月から11月まで頑張ってきましたが、今日までを振り返ると感染者の波が2回有りその間も平穏ではなく高低を繰り返してきました。11月半ばですが感染が広がり第3波が近寄っています。このような中で高齢者は最厄で特に老人クラブの活動は、八割以上ができませんでした。ということで活動報告は割愛させて頂きます。その代わりに富水地区の地域活動の組織形態を紹介いたします。



三、富水地区まちづくり委員会への参画

各分科会に分かれての課題解決を老人クラブ会員として参加活動する。(富水地区の全組織団体が一致団結して行動する「まちづくりワイワイフェスタ」活動)。(文・井上 勝美)

緑地区 (連合会長 浅岡 綽)

総会員数 185

城山むつみ会	会長 大森 一学	男11・女26	計37名
駅前二区緑栄会	会長 前田 政元	男12・女21	計33名
第四区松美会	会長 河鍋 春子	男18・女24	計42名
五区寿会	会長 小林 俊充	男13・女20	計33名
緑寿会	会長 浅岡 綽	男19・女21	計40名

解とご協力により、会員及び地域の高齢者の見守りを中心に、情報を共有して、健康な生活ができることに努力をしてみたいと思います。(文・浅岡 綽)

緑地区は小田原駅の周辺地域の八自治会からなっていますが、内二自治会(浦町、銀座)は諸般の事情により現在は老人クラブが結成されていません。従って右記の五地区による活動となっています。

本年度は特に新型コロナウイルス発生に伴い、市老連及び小田原市高齢介護課の活動自粛要請により、各単位クラブの活動が不可能な状態となりました。

そんな中ではありますが、連合会として数少ない活動に努力をした所現在では唯一として、9月の一斉清掃活動の実施を小田原駅西口広場で行いました。

天候が心配の中で各単位クラブより、多数の会員の参加を頂きました。(写真を参照ください)

また、しばらくの間、自粛をしておりました高齢者筋力向上トレーニング教室も、小田原市高齢介護課の協力を得ることができ、7月より毎週木曜日に体温測定・手消毒・室内換気などを行い1時間を目安に実施しております。

今後について、コロナ禍での活動は大変ですが、老人クラブ会員・友愛チーム役員・地域包括支援センター(しろやま)・各自治会の方々のご理



令和2年9月19日(土)



山王網一色地区 (連合会長 山口 繁)

総会員数
120

若葉クラブ	会長 山口 繁
六輪会	会長 梶塚 孝雄
会員数	男24・女42 計66名
	男19・女35 計54名

山王網一色地区は、山王神社を氏神にする山王地区と、網一色八幡神社を氏神にする地区に分かれています。

山王地区は国道1号線を挟んだ細長い地区と、北側の寿町との間の農地が新興住宅地として開発され、現在、農地は殆どありません。この地の老人会は二つのクラブ、六輪会と若葉クラブが活動しております。

老人クラブの社会奉仕は神社や公園の清掃作業が主体で、他に海岸清掃等も行っております。若葉クラブは会員66名ですが清掃に参加できる会員は約20名です。毎月一回山王神社の清掃と、東町第一公園、第二公園の清掃を行っております。

六輪会は会員が54名ですが、高齢を理由に最近老人会活動に参加される人数が少なくなっております。毎月一回山王神社の清掃と山王原公園の清掃を行っております。

この公園は西湘バイパスと旧堤防の間の空き地に、松や桜、銀杏等の樹木を植え、市の公園にしたもので、落葉樹が多くて、清掃の負担が多くなり苦労しております。



東町第一公園の作業



自治会、民生委員の方々の応援を得て頑張っております。六輪会はこの清掃作業が評価され、平成26年に小田原市から「環境美化活動表彰」を受賞されました。

(文・六輪会 湯川 和昭)

酒匂地区 (連合会長 堀内 勇)

総会員数
381

第一寿栄広会	会長 堀内 勇	男32・女57 計89名
大道敬和会	会長 塚原辰雄	男24・女33 計57名
シルバー富士	会長 小林久之	男21・女24 計45名
喜楽会	会長 中村富曜	男13・女20 計33名
長寿会	会長 今井康道	男14・女16 計30名
一二三会	会長 譲原 茂	男17・女17 計34名
寿楽会	会長 栗原稔育	男13・女17 計30名
長生会	会長 本田博保	男14・女16 計30名
相生会	会長 鈴木良紀	男22・女11 計33名

【酒匂地区の概況】

昭和36年頃から老人会として小田原市に登録した。先人の発足経過は自治会が主体となり高齢者の募集を行い登録までこぎつけた。

当時はまだまだ人口が少なく、高齢者も少ない中、地域一丸で動いてまとめたと聞いた。

その歴史の中、現在の単位クラブは、酒匂で4クラブ、小八幡で5クラブの計9クラブが活動している。

【問題点】

近年解散したクラブもあったが再立ち上げには至っていない。また現状登録クラブも加入者が少なく、介護施設の入所等で老人クラブの構成要素30名を割ってしまうクラブもあり苦慮している。今後は役員一丸となり勧誘することが課題となる。

【行事関係】

令和2年は新型コロナウイルスで中止がほとんどです。

【竹とんぼ作り】

小八幡東部、西部でまとまり三世交代交流として、酒匂小学校、富士見小学校、児童養護施設ゆりかご園、生き

がいふれあいフェスティバル作品展などの行事に参画。

【健康づくり太極拳】

第一寿栄広会では「NPO法人かもめの家」とタイアップ、介護予防、未病対策として太極拳を始めた。またボランティア活動では「酒匂第二公園」の清掃活動を始めた。

【ボランティア清掃活動での受賞】

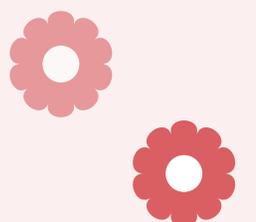
①小八幡五つの単位クラブ合同で地域の神社や通学路を月2回清掃活動を行っていた平成29年6月、その功績を認められ「環境大臣表彰」を受けた。

②第一寿栄広会は、小田原市より令和2年1月「環境美化表彰」を受けた。神社等清掃時は自治会役員の方々の参加も得られた。

【各単位クラブの状況】

令和2年度は別として「誕生会」「サロン会」「カラオケ会」「定期的な清掃活動」「友愛訪問」「自治会に積極的に参加」等々広く活動している。

(文・堀内 勇)



市老連主要行事報告

(令和2年4月～令和2年9月分)

月	日	事業(会議)名	内 容	場 所
4	20	監査	・令和元年度事業報告及び各会計収入支出決算報告について	おだわら総合医療福祉会館
	22	常任理事会	・令和2年度事業計画及び各会計収入支出予算案について	おだわら総合医療福祉会館
5	12	常任理事会 理事会	・令和元年度事業報告及び各会計収入支出決算報告について ・監査報告 ・令和2年度事業計画及び各会計収入支出予算案について	おだわら総合医療福祉会館
6	10	慰霊塔清掃	十字・二川・下曾我	市慰霊塔
	11	常任理事会 理事会	・令和2年度県老連理事長表彰について 他 ・令和2年度「市町村実態調査」に伴う会員の年齢構成調査について 他	おだわら総合医療福祉会館
	25	厚生部会議	・秋季旅行について	
7	8	常任理事会 理事会	・秋季研修旅行について ・生きがいふれあいフェスティバル「シルバー作品展」について ・西湘ブロック「ゆめクラブ大学」について ・健康づくり事業「体力測定」の開催について ・米寿(88歳)会員の調査及び贈呈金の確認について ・「社会奉仕の日」について 他	おだわら総合医療福祉会館
	10	慰霊塔清掃	酒匂・久野	市慰霊塔
	16	西湘ブロック 連絡協議会	・事業計画 ・県老連委託事業 ・情報交換	おだわら総合医療福祉会館
	22	教養部会議	・小田原創友クラブだより第75号について 他	おだわら総合医療福祉会館

月	日	事業(会議)名	内 容	場 所
8	5	常任理事会 理事会	・市老連表彰候補者の推薦について ・令和2年度「老人クラブ加入促進月間」事業の実施について ・会員の年齢構成調査結果について ・福祉友愛募金について 他	おだわら総合医療福祉会館
	8	慰霊塔清掃	富水・東富水・曾我	市慰霊塔
	20	西湘ブロック ゆめクラブ大学	・講話「フレイル予防について」 講師 神奈川県老人クラブ連合会 活動推進員 松田 冴子様 ・「高齢者のための栄養バランス等を考慮して調理された食事の試食及び栄養講話」 ・講話「新型コロナウイルス感染症予防について」 ～感染しない 感染を広げないためにできること～ 講師 小田原市 福祉健康部健康づくり課 小山 和英様 高橋 来実様 ・手洗い実践講習 中北薬品株式会社	おだわら総合医療福祉会館
8	26	体力測定 (健康づくり教室) [女性会員対象]	・体力測定 ・講話「腰痛予防について」 講師 機能訓練特化型 デイサービス 楽動	おだわら総合医療福祉会館
	27	体力測定 (健康づくり教室) [男性会員対象]	理学療法士 前田 大助様 理学療法士 関田 圭一様	
9	14	常任理事会 理事会	・単位クラブ会長研修会について ・老人大学(1回目)について ・西湘ブロック交流・小田原創友クラブ グラウンドゴルフ大会について ・赤い羽根共同募金運動街頭募金について ・小田原創友クラブだより第76号について 他	おだわら総合医療福祉会館

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--

--

令和2年度「西湘ブロック交流・小田原創友クラブ グラウンドゴルフ大会」開催されました



絶好の秋晴れに恵まれた11月10日(火)、酒匂川スポーツ広場において、小田原市福祉健康部山崎文明部長はじめ多数の来賓を迎え小田原市(39名)、箱根町(16名)、真鶴町(15名)、湯河原町(8名)の選手78名と、審判員16名、総勢94名の参加により、大友会長の挨拶と、ご来賓の山崎部長のご挨拶の後、来賓者の紹介と県老連松田指導員のもと準備体操が行われた。

先行組の選手と審判員がスタートホールに移動し、10時に競技がスタートした。先行組に続き後方組も1ラウンド終了したところで、午前中の競技は終了、昼食休憩タイムに「ゆめクラブ活性化推進事業募金」が行われ会員皆様のご協力に礼の言葉がありました。

12時30分から午後の競技も予定どおり順調に進み、大会が無事終了いたしました。

閉会式で各部門の成績が発表され、大友会長から賞品が授与されました。

本大会は一市三町の各老連との親睦を図ることを目的に開催されました。

今大会の成績は次の通りです。最後に競技審判員並びに、各理事さんのご協力に感謝いたします。

(文 体育部長)



大会成績(敬称略)

- 優勝 星野 忠男 (箱根町)
- 準優勝 石川 暉 (湯河原)
- 第3位 伊豆川 毅 (小田原)
- 第4位 朝倉美佐子 (小田原)
- 第5位 曾我 良子 (小田原)
- 第10位 穂谷野 稔 (小田原)
- 第15位 松本 静幸 (小田原)
- 第20位 佐藤 勝則 (小田原)
- 第25位 江島としゑ (箱根町)
- 第30位 稲葉 卓司 (小田原)
- 第35位 勝俣 伸一 (箱根町)
- 第40位 福住 正巳 (箱根町)
- 第45位 八尋 国昭 (小田原)
- 第50位 福地 賢一 (県老連)
- B B賞 小林 芳子 (真鶴町)
- ホールインワン賞

- 石井十四夫 (小田原)
- 伊豆川 毅 (小田原)
- 遠藤 貴文 (小田原)
- 小笠原 誠 (小田原)
- 曾我 良子 (小田原)
- 石井 暉 (湯河原)
- 勝又 愛子 (箱根町)
- 星野 忠男 (箱根町)



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--

健康づくり教室・ 体力測定が開催されました

健康づくり事業の一環として、自分の体力を正しく把握して、生活の中に適切な運動を取り入れることが健康づくりの第一歩と考え、「高齢者向け体力測定」が実施されました。

令和2年8月26日(女性会員)、27日(男性会員)。今回は新型コロナウイルス感染防止対策「三密」を厳守し「無理せず・競わず・安全に」をスローガンに「握力・10歩障害物歩行・長座体前屈・開眼片足立ち」の4種目により実施された。

講話は「腰と腰痛の予防について」理学療法士より、「高齢者に必要な体力は、いつまでも自立して日常生活を送る『座る、立つ、歩く』ことには正しい姿勢、特に腰回りの筋肉をつけることです。」というお話でした。

(文 体育部長)



会員募集中!!

60歳を すぎたら

シルバー人材センターへ

健康で、働く意欲のある高齢者の就業をサポートする公益社団法人です。

民間企業・家庭・公共機関などから仕事を引き受け、会員に提供します。毎月第3火曜日に説明会を行っています。



連絡先 生きがいふれあいセンターいそぎ内

☎0465(49)2333 【永井・山田・朝倉】

興味のある方は

「福祉友愛募金」の 結果について(お礼)

9月にお願い致しました「福祉友愛募金」につきまして、次の通りの金額が寄せられました。

皆様方の温かいご理解、ご協力に対しまして心からお礼申し上げます。

募金額 1,595,591円

「福祉友愛募金」の用途は次の通りです。

- 米寿会員へのお祝金の贈呈
- 満100歳の会員へのお祝金の贈呈
- 寝たきり会員へのお見舞い品の贈呈
- 地区老連の活動費



(文・財務部)

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



俳句

酒匂地区 第一寿栄広会 大木 敬子
冬 一枚の落葉手帳に挟みけり
新年 大波に太鼓響けり初日の出

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男
赤とんぼデイサービスを見送りに
朝顔の花のぼりつめ雲の峰
特大の大玉葱や梅雨明けぬ
梅まつり足柄平野に春の風
新しい視界楽しや車椅子
富士山を後見にして矢倉岳

川柳

前羽地区 町屋長楽会 大井川悦雄
この夏のエアコンさんに大金賞
コロナ禍に昔教わった代用食
猛暑日は嫌でも朝顔凜と咲く

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男
姿の字婆に見えて盆が明け
久々の足柄平野道ばかり
中一の部活の汗やもう男子
リハビリの階段得意タッタタ
急ぐなよビリが一番ゆつくりと
目薬は九割ティッシュ残りが目
デイサービスの日課はじまる敬老日
デイサービスの湯洪水如くを実感し
レヴィー病み幻のばばハグしたい
やがて散るドコモ兜の緒を緩め
王様が残る韓ドラ将棋界
朝プロに介護の女の白き脛

短歌

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男
梅千の干場流れる夏の風
電車基地から汽笛が響く

剣沢のこのチョロ水がああ海へ
どこどこ流れていつつのやら
生きたいと強く念じてこなくも
やがて九十きようも生きたり
リハビリの窓辺に曾我の山並み
梅もぐ亡妻の面影浮かぶ
リハ励むわれにPTほめ殺し

わかつていても心地よく聞く
あつ気なくばば逝きし宵なつかしく
夢の夢みる八十九歳

もうすぐに死ぬんだからと思いつつ
今朝も目覚めてデイサービスへ
亡妻隣り立待岬のなつかしや
テレビに映る函館の夜景
枝豆の塩味少し強ければ
一瞬よぎる塩分控え目

国からの十万円で娘らに
バッグを贈るなぜか嬉しき
静岡が日本一の暑さとか
娘孫らはいかにおわすや
テレビ切りデイサービスの迎え待つ
ドラマ行方案じつつ待つ
デイサービスが終り家路へ散り散りに
なぜか侘しき秋の夕暮れ
梅・桜・茶に枇杷・蜜柑・夏蜜柑
亡妻の面影曾我の山並み
暴れん坊黄門大岡袖にして
トニイ王様ヨニンゲン



原稿募集

「小田原創友クラブ」77号(令和3年夏号)に原稿をお寄せください。
単位クラブ活動や仲間同士でのボランティア活動、特別な行事や地域の奇祭などに参加している様子を投稿ください。(活動している様子、行事の様子など写真を添付してください)
日々の雑感(随想)、旅行記、俳句、短歌、川柳などお寄せください。
●紙面の都合で長文の場合は文章をカットまたは次号回しにする場合があります。
●二重投稿、発表済のものは受け付けません。
●必ず氏名・地区名・クラブ名・電話番号を明記ください。

発行 令和3年8月 締切日 令和3年6月1日

宛先 〒250-0055
小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館内
小田原市老人クラブ連合会 「小田原創友クラブ」教養部

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



研修旅行



クラブ大会



シルバースポーツ大会

おもいでアルバム



研修旅行



グラウンドゴルフ大会



シルバースポーツ大会

あしがき

新型コロナウイルスの影響もあり、今年度の市老連事業計画の遅れや中止が多く、会員皆様には大変ご迷惑をお掛けしております。

特に春・秋の研修旅行、シルバー作品展やスポーツ大会、市老連大会などが中止となり非常に残念です。

今年(2021年)は新型コロナウイルスの収束を望むとともに皆さん健康管理に十分に注意して、実り多き日々を過ごしてください。

追記、前回発行(75号)「単位クラブ活動報告(曾我地区)」において、投稿頂いた原稿と掲載文章が8か所異なっており、大変申し訳ございませんでした。原因は教養部の文章入力ミスです。今後このようなことがないように教養部一同、心を引き締めて頑張りますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

(教養部)

会員加入増強運動

小田原創友クラブの推進項目として

- ① 未加入者宅にパンフレットの投函。
- ② 会員1人が新しい会員1名以上の勧誘をする。
- ③ 未加入自治会の創友クラブの結成をはかる。
- ④ 単位クラブ2名以上の増員が最低目標。

ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報紙に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本紙は紙面を通して会員の交流・情報交換はもとより、地域の皆様に老人クラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【小田原市老人クラブ連合会】

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--